

新中核病院 情報

■問合先／企画課 ☎58-5111
75-3111、内線1272

新中核病院建設の基本的事項の合意文書に調印した桜川市 大塚市長(写真右)と筑西市 須藤市長(写真左)



■新中核病院建設の基本的事項の合意

桜川市と筑西市で推進している新中核病院建設について、両市の代表者(両市長、両議会代表、医師会代表、公立2病院長、市民代表)で構成する新中核病院建設基本的事項調整代表者会議による基本的事項の協議の結果、平成25年12月13日に次の5項目について両市長が合意しました。

1. 再編統合の枠組み
 - ・再編統合の枠組みは、県西総合病院と筑西市民病院の
2. 公立病院
3. 新中核病院の特徴
 - ・300床規模で、二次救急医療を完結し、三次救急医療を目指す。
4. 公立2病院の再編統合後の形態
 - ・「県西総合病院と筑西市民病院は19床以下の有床診療所」、または「県西総合病院を病院として残り筑西市民病院を無床の診療所」のいずれかについて、建設推進会議において協議する。
5. 新中核病院の建設場所
 - ・筑西市養蚕地区の筑西幹線道路沿線
 - ・両市で合意した基本的事項

に基づき、12月16日に茨城県が国の有識者会議に地域医療再生基金の延長を求めました。(期限延長は12月20日現在未定です。)

今後は、具体的な新中核病院の内容(経営主体、新病院の診療科目、公立2病院の形態など)を、建設推進会議で協議していく予定です。

■現状整理と今後の流れ

新中核病院を建設するため茨城県地域医療再生計画に基づく再生交付金25億円(総事業費約75億円)を活用する場合、次の項目が条件となります。(計画の概要は、広報さくらがわ平成25年12月号参照)

- ◆再編統合により病院が1つ以上減少すること。(公立2病院が無くなり、1つの新中核病院を建設、診療所は設置可能)
 - ・新中核病院300床
 - ・県西総合病院0床(当面124床の病院として運営できるが、新中核病院の開院後は、19床以下の診療所)
 - ・筑西市民病院0床(19床以下の診療所は可能)
 - ◆病床を10%以上削減(現在、県西総合病院299床、筑西市民病院173床、計472床)
- 一方、『**県西総合病院将来**

ビジョン報告書』(平成25年5月桜川市策定、桜川市公式ホームページに掲載)により、桜川市では、地域の開業医が少なく、県西総合病院が桜川市の地域医療の中核を担っていることが分かっています。

今後開催される予定の建設推進会議では、桜川・筑西地域の持続可能な地域医療提供体制の構築と共に、病院の建設費・運営費などの財政負担や桜川市の医療の現状を踏まえ、合意した基本的事項に基づき、桜川市にとって必要な医療提供体制についても協議していくこととなります。

【参考】県西総合病院将来ビジョンの概要

- ◆ビジョン策定の背景
 - ・県西総合病院では、医師不足(特に常勤医)が要因となり、診療機能は縮小。実働病床数は169床(許可病床299床)
 - ・県西総合病院の老朽化・狭隘化が進み、施設整備が必要となっている。
- ◆県西総合病院の将来の姿(将来推計による)
 - ・入院患者数/約136人/日
 - ・外来患者数/約400人/日
 - ・人工透析/30床程度
 - ・訪問介護/10人/日
 - ・医療連携/○筑西・下妻保健医療圏内のほかの病院と連携を強化
 - 高度医療は医療圏外の高度急性期病院を紹介 ○外来診療については、市内の診療所との連携強化

※病床数20床以上は病院、19床以下は診療所

勉強がらくになるのは公文式!
はじめよう!
KUMON

ぜひ一度、教室を見に来てください。

真壁中央・十里・明野ピーススフィア教室
代表 **0296-57-2969**
真壁中央: 桜川市真壁町田52-4

乳幼児教室
小学生教室
中学生教室
高校生教室

古橋伸夫税理士事務所
TKC

～お客さまに 豊かさと繁栄を～

桜川市真壁町桜井765-2
TEL 0296-54-1540
Homepage <http://www.furuhashikaikei.com>